

## 大枝中学校ブロックの小中一貫教育

## 軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力＜自ら学ぶ力＞・自らが、学び方とともに「何のために、何を、どう学んでいるか」がわかる ・学んだことを活用して考え、表現できる								
学年または学年区分ごとにめざす姿			学び合い、話し 合い、深め合う ・司会をおいて 話し合いが進 められる。	学んだことから 類推して考える ・パネルディス カッション・ ディベート等 多様な話し合 いを知る。	探究的に課題に 取り組む ・伝えたいこと や追究したい ことに適した 話し合いを用 いて課題を解 決する。	筋道たてて考え られる ・ペア学習を通 して、自分の 考えを伝え たり相手の考 えを聞く力をつ ける。	論理的に考えたり、抽象的な概念を用いて思考できる ・グループ学習の中でつながる力をつける。	抽象的な概念を用いて思考し、表現できる ・学習言語を用いて自分の考えを発表できる。
がっこう大すき ・経験を元に、みんなの前で話せる。	ペンきょう大すき ・経験を元に考え、自分の言葉で話せる。	友だちと学び合う ・話し合いの仕方がわかる。	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動			・考えながら話を聞く。 ・自分の考えを正しく伝える。 ・話し合いに参加し、意見が言える。 ・家庭学習習慣を形成する。	・探究活動の仕方がわかる。 ・人の意見を取り入れて考える。 ・自分の考えを分かりやすく伝える。 ・自主学習を取り入れながら、家庭学習習慣を身につける。	・探究活動に取り組む。 ・人の意見を取り入れて考える。 ・自分の考えを分かりやすく伝える。 ・自主学習を取り入れながら、家庭学習を行う。	＜大枝中学校の取組＞ ・ノートに自分の考えを書く。 ・すじみちをたてて考える。 ・見通しを持って学習し、振り返る習慣をつける。 ・教科ごとに工夫してノート作りができる ・授業ごとに復習ができる。		・基礎力の積み上げと、自分の考えを明確にするための主体的なノート作りができる。 ・進路の実現に向けて主体的に学習する態度を身につける。
＜中学校ブロックとしての取組＞ ・小中の管理職、教務主任、研究主任、生徒指導担当者が中心となり、共通の課題に対する改善の方向性を明確にするために、定期的な情報交換の場を設ける。 ・小中合同研修会を年数回行い、連続した指導を行う。 ・6年生対象の中学校体験授業を実施する。 ・学習形態の統一を図り、小学校から中学校へのスムーズな移行ができるようにする。 ・小学校でも、教科担任制・教科交換を取り入れることで、中学校に入学した時に教科ごとに担任が代わることへの抵抗感をなくす。 ・3校合同ポスターセッション発表会として定着させ、学力向上を図る。								

義務教育卒業時につけたい力＜仲間とつながり、自他を大切にする力＞								
・一貫した学びの指導を通じて、こころ豊かに集団や社会の中でたくましく生きていける ・思いやりの気持ちを大切にし、心をこめたあいさつや正しい言葉づかいができる								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
がっこう だいすき	せんせい だいすき	友だちいっぱい	友だちの よさがわかる	励まし合い、 高め合う	自分のよさを のばす	共に学び合う	感性豊かに学び 合う	思いやりの心を 持ってつながり 合う
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動						＜大枝中学校の取組＞		
・返事やあいさつをする。 ・集団あそびに親しむ。	・大きな声で返事やあいさつをする。 ・自分たちで、集団あそびを楽しむ。	・自分から、返事やあいさつをする。 ・相手のことを考えた行動ができる。	・自分から進んで、返事やあいさつをする。 ・仲間のことを考えた行動ができる。	・相手の目を見て、気持ちの良い返事やあいさつをする。 ・集団のことを考えた行動ができる。	・相手の目を見て、気持ちの良い返事やあいさつをする。 ・全体のことを考えた行動ができる。	・話をしている人の方を見て聞く。 ・返事をする。 ・あいさつをする。 ・わからないことは友だちや先生に聞く。 ・友だちがわからないとき教えてあげることができる。	・学校生活の中では、ていねいな言葉づかいで話す。 ・困っている人がいたら、進んで声をかける。 ・教え合い活動ができる。	・学級の中では、自分のことより全体のことを優先して行動できる。 ・困っている人がいたら、進んで声をかける。 ・学び合い活動ができる。
＜中学校ブロックとしての取組＞								
・小中の管理職、教務主任、研究主任、生徒指導担当者が中心となり、共通の課題に対する改善の方向性を明確にするために、定期的な情報交換の場を設ける。 ・児童会・生徒会を中心とした取組を通して、明るく気持ちのよい、返事やあいさつができるようにする。 ・小学校は、中学生の受け入れなどで中学校のチャレンジ体験事業に協力する。								

<b>義務教育卒業時につきたい力</b> <b>＜社会の中で責任を果たし、よりよい未来を創る力＞</b> ・大枝の自然を愛し、地球を愛し、人を愛しむ ・将来展望を確かにもち、描く未来に向かって努力を続ける								
<b>学年または学年区分ごとにめざす姿</b>								
きまりをまもる	きまりをまもる	きまりには わけがある	きまりには わけがある	励まし合い、 高め合う	自分のよさを のぼす	将来の生活につ いて考え、夢や 目標を持てる	いろいろな仕事 について知り、 自分の進路につ いて考える	目標を持って、 自分の進路を決 定する
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
<b>取組・活動</b> ・ルールを知っ て、守る。	・ルールを守る。	・ルールやマナ ーを守る。	・ルールやマナ ーを守る。	・理由を理解し、 自覚的にきまり を守る。 ・下学年のお手 本になる行動を する。	・理由を理解し、 自覚的にきまり を守る。 ・学校のリーダ ーとして、下学 年に働きかけ る。 ・ポスターセッ ションの取組	<b>＜大枝中学校の取組＞</b> ・中学生として の自覚を持ち ルールを守っ て学校生活を 送る。 ・ファイナンス パークの取組 ・仕事調べ。 ・ポスターセッ ションの取組		・社会での一般 常識について 知る。 ・進路先のオー プンスクール 体験。 ・進路の決定。
<b>＜中学校ブロックとしての取組＞</b> ・小中の管理職、教務主任、研究主任、生徒指導担当者が中心となり、共通の課題に対する改善の方向性を明確にするために、定期的な情報交換の場を設ける。 ・学習のきまり・学校生活のきまりについて、ブロック内で統一し、ガイドラインとして全児童・生徒に周知徹底する。 ・小中の教員の相互研修の場を設定し、指導の一貫性や教育観・指導観の共有を図り、連続したぶれない指導を行う。								

## 学びの約束・ルール

[illegible]